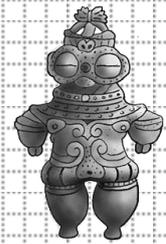


2017年2月

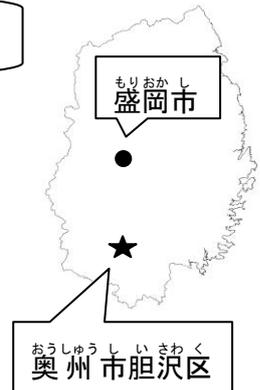
考古 No. 14

けんぱくものしりシート

つ の づ か こ ふ ん 角 塚 古 墳



こちらは、岩手県南部の奥州市胆沢区にある角塚古墳です。



古墳？

くにしていしせき
《国指定史跡》



はい。古墳というのは土を高くもりあげて造った小高い丘（墳丘）をもつ古いおはかのことをいいます。角塚古墳は、今から約1550年前の5世紀後半（古墳時代中期）に造られた岩手県内で最も古く、最も大きな古墳です。



へえ～。そうなんだ。なんか、かぎあなのような形をしているね。



角塚古墳は、四角形に円形の丘をつなげた前方後円墳という形をしています。この形は日本独自のもので、古墳時代を代表する形です。ねん土を焼いてつくった埴輪もみつかりますので、角塚古墳は前方後円墳として、また埴輪をもつ古墳として日本で最も北に位置しています。県内では、ただ一つの前方後円墳です。

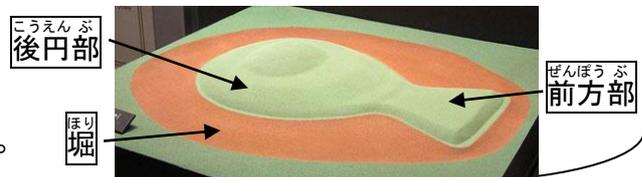


すご～い！

角塚古墳の大きさはどれくらいあるの？



墳丘の長さは46mあります。円形をした後円部の直径は32.4m、高さは5.5mあり、二段に土がもられていました。四角形をした前方部の長さは16m、幅は17mあり、段はなく低くなっています。墳丘のまわりには、堀がめぐらされていました。





はにわ
埴輪はどんなものがみついているの？



まるい筒の形をした円筒埴輪や、円筒埴輪の口の部分が
あさがおはなのように大きく開くことから名づけられた朝顔
がたはにわ形埴輪のほか、にわとりやいのしし、うまなどの動物、男
や女の人などの人物、家などをかたどった形象埴輪も
みついています。



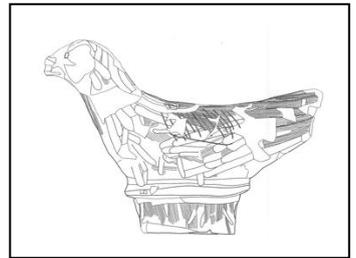
えんとうはにわ
円筒埴輪



それらの埴輪はどこに並べられていたの？

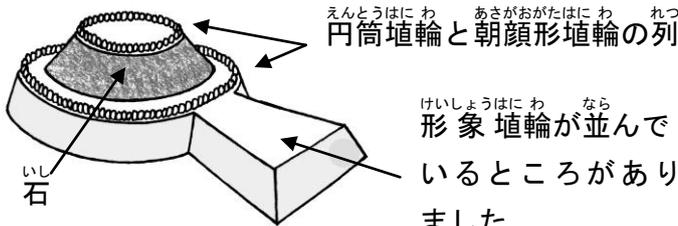


後円部の上の段の斜面は石でおおわれていて、頂上
と下の段の平らなところに、円筒埴輪と朝顔形埴輪が
めぐらされていました。一方、形象埴輪は、前方部な
どに並んでいるところがあったと考えられていま
す。埴輪を並べた古墳では、ほうむられた人を送り、
そのあとをつぐ儀式が行われました。



がたはにわ
にわとり形埴輪

【出典：参考※】



形象埴輪が並んで
いるところがあり
ました

ところで、
つづかこふんは
角塚古墳は
だれのおは
かなの？



角塚古墳から北へ約2 kmはなれたところにある中半入遺跡は、角塚古墳と同じこ
ろの大きな集落の遺跡です。この集落に大きなやしきをかまえて、この地方で
力をふるった一族のリーダーである首長が、角塚古墳にほうむられたのではな
いかと考えられています。角塚古墳の内部は調べられていませんので、わから
ないことは、まだたくさんあります。これからの研究に期待しましょう。

参考 ※『胆沢町埋蔵文化財調査報告書第28集 角塚古墳—整備基本計画策定に伴う形態確認調査報告—』胆沢町教育委員会 2002年 / 『これなあに？考古No.24 角塚古墳』岩手県立博物館 1997年 ほか

らいげつ
来月(3月)の
けんぱくものしりシートは
れきし
歴史-14だよ！
おたのしみに！



モッチャン



岩手県立博物館

〒020-0102 岩手県盛岡市上田字松屋敷34
Tel. 019-661-2831 Fax. 019-665-1214
http://www2.pref.iwate.jp/~hp0910/